

野面の盆踊【のぶのぼんおどり】



開催場所

北九州市八幡西区野面1丁目

開催日

長泉寺（初日の踊り初め） 初盆の家

指定

8月13日・8月14日

市町村指定無形文化財

【芸能の概要】

遠賀川流域に広く分布する盆踊りに属する踊りで、19世紀初め頃、中間市周辺から伝承されたと推定される。扮装は地方（ちかた）地謡（ぢうたい）踊り子とも編笠をかぶり、浴衣を着用し、白足袋に草履をはく。踊る場所の中央に長柄の大傘を立て、その下に「ぢぶたい」（三味線、地方、地謡）が位置する。その周囲に円陣を組み「ほめ言葉、返し言葉」を入れながら左回りに踊る。期間中2日間、踊り始めは長泉寺で行った後、初盆の家を中心に回って踊る。

【芸能の特徴】

19世紀初め、中間市周辺に伝承されている「中間の盆踊」から習得したと伝わる。いわゆる遠賀川流域系の盆踊りで、地方歌舞伎の芦屋役者や植木役者の影響を色濃く受けている。

第二次大戦前は、人手不足から隣村と合同で行っていた時期もあったようであるが、詳細は伝わっていない。

・アクセス

筑豊電鉄木屋瀬駅より車で10分

・周辺の観光

長崎街道木屋瀬宿記念館、瀬坂の森公園、曲里の松並木、吉祥寺の藤

吉祥寺藤まつり（4月）

筑前木屋瀬祇園宿場祭（7月）

筑前黒崎宿場まつり（10月）

筑前木屋瀬子供えびす祭（12月）

・近くの特産品

大葉春菊、フグ、一粒カキ、小倉牛

